

6戦ぶりの舗装ラウンドをクラス2位フィニッシュ

2018年全日本ラリー選手権第9戦

第46回 M.C.S.C. ラリーハイランドマスターズ 2018 supported by Sammy

日頃はプレイドライブ全日本ラリー選手権参戦プロジェクトに多大なるご理解とご協賛をいただきまして、誠にありがとうございます。

「プレイドライブ YH ノート NISMO S」は、10月12日（金）～14日（日）に岐阜県高山市周辺で開催された2018年全日本ラリー選手権第9戦「第46回 M.C.S.C. ラリーハイランドマスターズ 2018 supported by Sammy」に参戦いたしました。今季残る2戦は、いずれもターマック戦。中高速の林道 SS が主体となるハイランドマスターズは、タイトル争いも佳境を迎えるなか、例年、僅差のバトルが展開されています。日産ノート NISMO S で臨んだ伊藤隆晃／大高徹也組は、競技初日となる13日（土）、久しぶりの舗装ステージでマシンのセッティングに苦戦しながらも、クラス2番手のタイムを並べ、この日をクラストップに13.0秒差の2番手で終えました。首位浮上を目指して臨んだ14日（日）でしたが、落ち葉で路面が滑りやすいため、メリハリをつけた丁寧な走りを実践。一時クラス3番手に順位を落としたものの、午後のSSで逆転を果たし、2位表彰台を獲得しました。



ドライバー 伊藤隆晃のコメント

「久々のターマックラリー参戦でしたので、ドライビングを舗装用に戻すのに苦労しました。クルマのセッティングもイチからやり直しに近い状態だったので、大変でした。雨だった去年のハイランドとはまったくコンディションが変わってしまい、路面も滑りやすい部分が多かったので、その点ではノート NISMO S の良さを引き出し切れませんでした。今回のメカニックには、前戦から引き続き参加してくれた学生もいたので、よくがんばってくれたと思います」

JN1 クラス リザルト

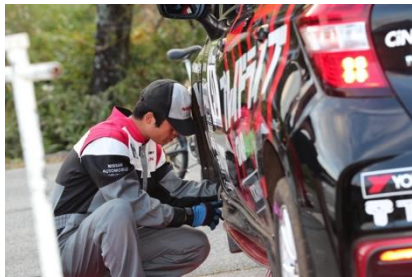
順位	ドライバー	コ・ドライバー	車両名	タイム/差
1	内藤 学武	小藤 桂一	YH Moty' s BRIG G4 スイフト	1:12:23.6
2	伊藤 隆晃	大高 徹也	プレイドライブ YH ノート NISMO S	+32.1
3	古川 寛	廣田 幸子	スマッシュ DLitzz インディゴスイフト	+41.3
4	小川 剛	佐々木 裕一	itzz ADVAN AN Fit	+59.9
5	高崎 巧	馬場 裕之	NRS NOTE NISMO S	+3:53.6
6	いとうりな	竹原 静香	YH ACRE AW OKUYAMA VITZ	+5:00.0
R	田中 晋太郎	河西 晴雄	KYB AQTEC スイフト	

参加台数7台、出走7台、完走6台

プレイドライブ

メカニックとして参加された日産自動車大学の学生たち

日産愛知自動車大学校より4名の学生が参加し、ラリーサービスを体験しました。3日間にわたり、限られた時間のなかでラリーカーの整備や経験を積みました。



中田将稀さん 一級自動車工学科4年

「3回目の参加ということもあり、周りを引っ張って行かなくてはならない立場で取り組みました。その中で、自分に足りない部分が顕著に出たところもあったので、今後の課題にしようと思います。これまで自分でやってきたことの集大成を、いかに次の学年に伝えられるかを意識し、その学年がさらに次の学年に伝えられるように教えることを努めて臨みました。昨年、高山に参加した時は優勝したので今回も勝ってみたいと思っていましたが、リタイヤから立ち直ったので2位なので、その意味の大きさを感じました」



伊藤瞭我さん 一級自動車工学科4年

「唐津戦に続いて2回目の参加ですが、平地にサービスがあった唐津とは異なり、今回は山の中だったので天候も変わりやすく、タイヤ選択の決断などを話し合うなどの違いがありました。自分としては、前回ミスしたところを克服できましたし、チームワークという点では、初参加の学生に対して教えながらうまくできたことが、一番の収穫だったと思います。今回は、2位、3位を攻防する戦況になったので、なんとか2位に入ってもらいたい！という気持ちで取り組みました」



渡慶次道太さん 一級自動車工学科2年

「初めてラリーに参加しました。昨年はスーパー耐久に参加したのですが、S耐よりも車両に対してより深い作業が行えるので、ラリーに興味を持ちました。限られた時間の中での作業は学校の実習と似ているところもありますが、金曜日と土曜日にブレーキパッドの交換を行い、想定外の事態での対応を学ぶことができました。それ以外にも、3日間を通して学ぶことが多かった、という点が一番印象に残っています。今後も機会があれば、モータースポーツに関わる活動に参加したいと思っています」



中島巧さん 整備科2年

「初めてプロのラリーチームのそばで仕事をさせていただきましたが、学校とは違う貴重な体験ができました。オン/オフの切り替えの瞬間を間近で見られたことは、一番大きな収穫でした。普段と違う環境での作業は、練習していても緊張してしまったのですが、指導担当のプロのメカニックさんが優しく教えてくださったので、落ち着いて向き合うことができました。自分たちが整備させてもらったマシンが2位に入り、そのことに少しでも自分たちが貢献できたと思えたことが、印象的でした」

次回の参戦は、11月2日（金）～4日（日）に愛知県新城市で開催される第10戦「新城ラリー2018」（ターマック）です。引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。